No.503

りんせい 林声

2025 9月号



がんばるおかやまの事業体、今回は作州かがみの森林組合を紹介します。写真は令和５年度から運用開始された「かがみの・夢・森林づくり鏡野町貯木場」で、作州かがみの森林組合が鏡野町から委託を受け運営しています。

（詳細はP2に記載）

目　次

がんばるおかやまの事業体
（作州かがみの森林組合）…… 2
森林環境譲与税の活用事例（高梁市）…… 3
普及指導区の情報（倉敷普及指導区）…… 4
林業労働安全の啓発について …… 5
ツキノワグマにご注意ください！ …… 6
おかやま森づくり県民税を活用した鳥獣被害対策‥ 6
治山事業の紹介 …… 7
岡山県職員(林業職)自己紹介 …… 8
林業研究グループ交換研修大会 …… 9
お知らせ・イベント情報 …… 10
林産物市況 …… 11
「おかやま森づくり県民税」3つの柱について②‥ 11
ぼっけー木になる情報 …… 13
森林・林業施設の紹介（キプロ株式会社） …… 14



©岡山県マスコット「ももっち・うらっち」

がんばるおかやまの事業体

【作州かがみの森林組合】

一　はじめに

作州かがみの森林組合は苫田郡鏡野町に所在し、平成18年に旧奥津町、旧鏡野町、旧上齋原村、旧富村の各森林組合が合併し、現在、従業員は38名、うち現場作業員が18名の６班体制で間伐を主とした素材生産から造林、保育作業を行っている認定事業体です。

二　取組状況

森林整備事業では搬出間伐を中心に年間約２７，０００立方メートルの素材生産を行い、近年、シカによる再造林の食害が急増していることから、防護ネットの設置・点検等を行いながら再造林を進め、林業サイクルの活性化を目指して日々事業に取り組んでいます。



防護ネットの点検の様子

また、業務が増していく中で、令和６年度にはＧＮＳＳ測量機器を導入し、造林補助金申請に係る測量や図面作成、境界確認業務等に活用するなど、ＩＣＴ技術による業務の効率化を図っています。今後は施業地の確認や、シカ被害の状況の把握、災害後の巡視等を目的にドローンの導入を検討しており、更なる効率化を目指しています。



GNSS測量の様子

さらには、令和元年度から岡山県森林認証・認証材普及促進協議会へ入会し、森林認証を取得するとともに、現在、Ｊ-クレジット制度において、プロジェクト計画の登録に向けて事務作業を進めているなど、森林価値の創出にも取り組まれています。

三　地域との連携

鏡野町が実施する森林経営管理制度の取組の中で、町が実施した意向調査により、森林所有者から経営や管理の委託の申出等があった区域の一部を森林組合の森林経営計画の中に組み込み、森林整備を実施しています。

また、町内の林業関係者、行政関係者等で構成される「鏡野町森林（もり）づくり協議会」に協議会委員として参加し、町内の森林保全及び林業振興の活性化、次世代への豊かな状態での継承を目的とし、協議会から町に様々な提言が行われています。その中で木材集積基地の必要性についても提言され、令和５年度には、鏡野町産材の有効活用や出荷者への負担を軽減する目的で、町が「かがみの・夢・森林づくり鏡野町貯木場」の運用を開始し、作州かがみの森林組合が受付業務等を委託され、運営しています。



鏡野町貯木場

その他、林業用資材の販売やガソリンスタンド事業、製材加工事業、特産品事業、除雪事業など様々な事業に取り組み、地域の暮らしと雇用を守るため貢献されています。

四　おわりに

作州かがみの森林組合は、鏡野町や地域関係者と連携し、地域に欠かせない存在として、複数の事業に精力的に取り組まれています。

津山普及指導区として、更なるご活躍をいただけるよう、引き続き支援を行ってまいります。

（津山普及指導区　小寺　翔太）

森林環境譲与税の活用事例
高梁市の取組み
【高梁普及指導区】

一　はじめに

高梁市は県の中西部に位置し、高梁川が中央部を南北に貫流、その両側に吉備高原が東西に広がっています。豊かな森林と美しい自然に囲まれた農業を基幹産業とする農山村地域です。急峻な地形が多いため、林業の適地が限られ、民有林面積約4万2千㌶のうち、ヒノキを主体とした人工林は9千㌶、率にして22％しかなく小規模で分散しており、人工林を主体とした施業団地化が難しい地域です。一方、多種多様な広葉樹林が広がる地域でもあります。

当地域も他地域と同様に、林業従事者の高齢化や後継者不足、木材価格の長期低迷により、森林所有者の山への関心が薄れ、人工林の間伐や再造林が進まない等の問題を抱えています。

こうした中、市ではこれら地域課題の解決のため、森林環境譲与税を活用し、各種の取組を推進しています。本誌（№４９２／令和５年11月号）にて、当時の取組みをお知らせしましたが、今回はその続編です。直近の取組を中心に、高梁市における森林環境譲与税を活用した取組を紹介します。

二　森林環境譲与税の譲与額

森林環境譲与税は令和元年度から譲与が始まりました。これまで2億3百万円が譲与されました。令和6年度からはその財源の森林環境税（国税・国民一人あたり年1千円）が徴収されています。

高梁市における譲与額

年度	譲与額（千円）
令和元	14,079
令和２	29,918
令和３	30,605
令和４	38,372
令和５	38,372
令和６	52,454
計６年間	203,800

三　森林環境譲与税を活用した取組

市では、譲与税の使途を森林整備、人材育成、木材利用に区分し各施策に取り組んでいます。経営管理権集積計画に基づく森林整備を始め、前回紹介した「里山林整備事業」「高性能林業機械購入補助」のほか、森林整備分野として「木質バイオマス安定供給事業」「松くい虫駆除事業」、木材利用分野として「小・中学校整備」などを展開しています。

森林環境譲与税の使途
（令和元～５年度）

区分	事業費（千円）
森林整備	64,794
人材育成	6,462
木材利用	3,400
計	74,656

※R6はR7秋頃公表予定

①経営管理権集積計画

市の取組方針に基づき、市内を5地区に分け、順次意向調査を実施しており、令和2年度の調査開始から令和6年度までに、3地区、面積にして約3千9百㌶の意向調査を実施しました。本調査はびほく森林組合に委託しています。人工林面積のうち約4割が市へ管理を委ねたいと希望しています。市での管理を希望する森林については、順次現地調査を実施しており、調査終了箇所から順に集積計画を作成します。そのうち、森林経営上の条件が良い森林については、森林組合が作成する森林経営計画への編入ができないかについても検討されます。現在のところ、意向調査期間を順次前倒して実施できており、早期の森林整備の着手に向けて事業を加速させています。

②木質バイオマス安定供給事業

高梁地域では、令和6年3月に民間事業者により木質バイオマス発電所が稼働をはじめました。この発電所は地域の未利用資源（木材チップ）を活用し発電しています。市では市内の未利用資源であった広葉樹を市内で有効活用してもらうため、燃料材の搬出に伴う経費の一部を助成しています。補助金額は燃料材1㌧あたり2千円です。令和6年度においては1万㌧分にあたる2千万円を搬出事業者に対し助成しました。

四　おわりに

森林環境譲与税は、市にとって地域の森林・林業をとりまく課題解決のための貴重な自主財源です。市では森林所有者、森林組合、素材生産業者等の方々の意見や要望を取り入れつつ各種施策をブラッシュアップしていきます。

高梁普及指導区としても、こうした市の取組に対し引き続き支援してまいります。

（高梁普及指導区　山本　勝範）

普及指導区の情報

「地域再造林推進ワーキンググループ」の取組について

【高梁普及指導区】

一　はじめに

岡山県では、令和5年1月に確実な再造林に向けた対策検討会議を設置し、さらに地域での課題整理や課題解決に向けた議論を進めるため、令和5年度から普及指導区ごとに「地域再造林推進ワーキンググループ（以下WG）」を設置しており、当普及指導区においては、森林資源の状況が似ている井笠普及指導区と合同でWGを実施しています。



倉敷・井笠地域再造林WG

二　課題の整理

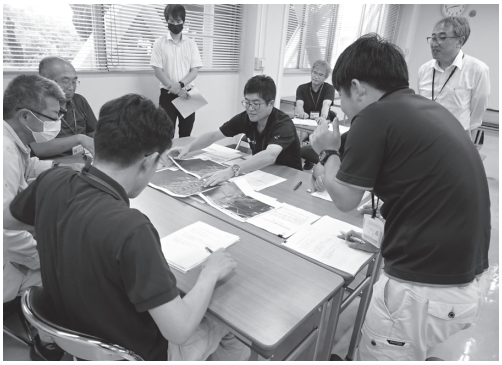
当普及指導区は人工造林地が少なく、開発（転用）以外の主伐はほとんど行われていないのが現状です。しかし、森林・林業を取り巻く課題がないわけではありません。

第1回のWGで行った意見交換会では、市町・森林組合の担当者の方から、森林所有者の所有山林に対する関心の低下や、林業労働者不足、特に、市町担当者からは、他の業務との兼務のため林政業務に十分時間が取れない等の意見が出されました。

三　検討課題と検討内容

意見交換で出た意見等をもとに、WGメンバーと検討課題の整理を行った結果、県北部のような「人工造林地の皆伐～再造林」といった内容の議論は困難なため、県南部地域で積極的に検討する課題として「伐採造林届の適正な運用」を設定し、具体的な検討を進めることとしました。

今年度の取組としては、初めて林務を担当する市町の方が多かったため、実際の窓口対応を想定したロールプレイング方式での研修としました。



ロールプレイングの様子
（届出者への窓口対応は丁寧でした）

森林組合の方に申請者の役を演じていただき、本番さながらのやり取りは、届出受理時の注意点等の理解を深めることができたと参加者からも好評でした。

今後もロールプレイング方式による研修を実施し、制度の内容を十分理解してもらうとともに、再造林へのPRと併せて森林所有者や伐採業者等へ制度の周知を図っていただくこととしています。

また、令和6年度は管内の人工造林皆伐跡地へ行き、伐採後の状況視察や、造林計画を「天然更新」としてある場合に、的確な更新ができているのか否かを判断するための更新状況の調査を行いました。

四　終わりに

当普及指導区で取り組んでいる地域再造林推進WGは、直接的な再造林の実施とは少し離れていますが、伐採造林届出制度の適切な運用により、伐採や伐採後の造林の実態を把握し、適正な森林施業を確保するとともに、違法伐採の防止にもつなげていきたいと考えています。

（倉敷普及指導区　芦田　順子）



皆伐跡地の視察



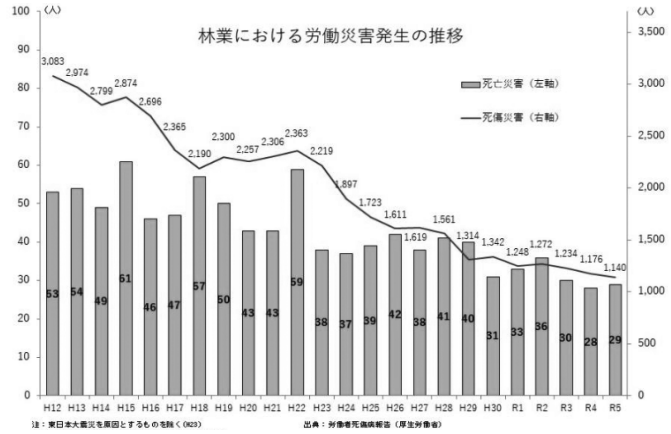
天然更新地で標準地を設定し
更新状況を調査

林業労働安全の啓発について

一　はじめに

林業における労働災害は長期的にみると減少していますが、災害の発生率等、他の産業に比べて高い状態にあります。

県では、林業の職場が安全で快適なものとなることをめざして、関係機関と連携し、労働災害の防止に向けた取組みを推進していきます。



二　労働災害の発生状況

本県での令和6年の労働災害は、死傷者数が36人であり、毎年30～40人程度の発生頻度となっています。そのうち、伐木作業中に発生したものが全体の3割強と最も多く、また、経験年数で見ると、5年未満の方の割合が全体の約4割を占めており、経験年数の浅い従事者に災害が多くなっています。

全国での令和5年の労働災害は、死亡者数が前年に比べ1人増加し、死傷者数は減少しており、そのうち死亡災害発生状況は、50歳以上が全体の約7割、作業種別の死亡災害では伐木作業中の災害が全体の約5割という結果となっています。

また、令和6年における林業の死傷年千人率（1年間の労働者千人当たりに発生した死傷者数の割合を示すもの）は、23．3となり、前年と比較し0．5ポイント増加しています。全産業の年千人率2．3と比較すると、林業の労働災害の発生率は10倍となっており、依然として全産業の中で最も高い値を示しています。

林野庁では、令和3年6月に閣議決定した「森林・林業基本計画」において、将来の林業従事者の育成・確保に資する労働環境の改善に向けた対応として、今後10年を目途に死傷年千人率を半減されることを目指して労働安全対策を強化することとしています。

休業４日以上の死傷者数の推移　（単位:人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6
全国	全産業	131,156	149,918	132,355	135,371	135,718
	千人率	2.3	2.7	2.3	2.4	2.3
	林業	1,275	1,235	1,176	1,140	1,167
	千人率	25.5	24.7	23.5	22.8	23.3
岡山県	全産業	2,337	2,501	2,179	2,344	2,336
	林業	34	38	28	29	36

資料：死傷者数は「労働者死傷病報告」、千人率は「業種別死傷年千人率」（厚生労働省）

三　県における取組み

県では、関係機関と連携し、おかやま森づくり県民税を活用した安全装備や労働強度軽減資材の導入支援、巡回指導等を実施し、労働災害防止に取り組んでいます。

安全装備の導入では、チェーンソー作業用防護衣や防振・耐切創手袋のほか、熱中症対策として空調服を導入する事業体も増えています。



四　最後に

林業は多様な自然環境の中で、危険な作業を行う業種です。もしものことを想定し、事前に対策を行っていることが、労働安全の確保につながります。

安全装備の徹底のほか、事前に作業員の体調管理や、作業内容の事前ミーティングを実施し、災害防止の準備を怠りなく行うよう心がけてください。

（林政課　普及指導班）

ツキノワグマにご注意ください！



秋から年末にかけて、ツキノワグマは冬眠に備えて、食欲旺盛になります。エサを求め行動が活発になることから、人との遭遇も増える時期で、県内でも毎年秋は目撃件数が増加傾向にあります。

クマとの遭遇を予防し、人身被害にあわないための十分な注意と対策が必要です。

1　クマに出会わないために

○出没情報に注意！

山に入る時は、クマの出没情報に気を付け、危ない場所には近づかないのが一番です。早朝や夕方は遭遇する可能性が高い時間帯なので特に注意が必要です。

○音で知らせよう！

山に入る時は、クマ鈴やラジオを鳴らすなど、音を出して、クマにこちらの存在を知らせましょう。

○クマの糞や足跡を見つけたら！

近くにクマがいる可能性があるので、速やかに引き返しましょう。

2　クマに出会ってしまったら

○遠くにクマを見つけたら…

静かにその場を離れましょう。

○クマがこちらに気づいたら…

落ち着いて静かにしていれば、ほとんどの場合、クマは立ち去ります。

○クマが近付いてきたら…

クマは逃げるものを追う習性があります。クマの動きに注意しながら、背中を見せないよう、ゆっくりと後退してください。大声や投石は、クマを刺激して大変危険です。

○万一、クマに襲われたら…

地面に伏せて顔や首、腹部を守る姿勢をとりましょう。中途半端な反撃はかえって危険です。

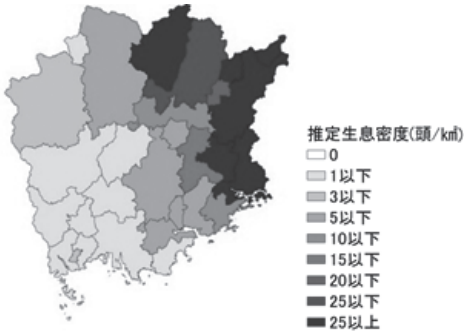
クマを目撃した際や被害にあった場合は、最寄りの市町村役場または県民局森林企画課、地域事務所地域森林課へご連絡ください。

（自然環境課）

おかやま森づくり県民税を活用した鳥獣被害対策



近年、ニホンジカの捕獲頭数は増加し、推定生息数は横ばい傾向にあるものの、生息域は、県北部から県中北部へ拡大しており、ニホンジカによるスギやヒノキの苗木への食害が増加するなど、森林所有者の林業生産の意欲を減退させる一因となっています。



令和５年度シカ推定生息密度

岡山県では、ニホンジカによる被害の軽減を図るため、おかやま森づくり県民税を活用し、市町村が行う有害許可捕獲事業に要する経費の一部を助成するとともに、ドローンを活用した、省力的な捕獲技術の検証や地域の実情に応じた森林被害対策の検討等の取組を進めています。

省力的な捕獲技術の検証では、令和5年度から鏡野町で、巻狩りを行う際の猟犬の代わりとして、ドローンを活用できるか検証を行っています。これまでの調査結果から、ドローンに搭載したスピーカーから録音した猟犬の鳴き声を一定の距離から発報することで、シカを追い出すことができることが分かっています。



令和６年度検証の様子（鏡野町）

今後は、これまでに収集したGPSデータやベテラン狩猟者への聞き取りを通じて、シカの行動パターンを見える化することで、より効率的にドローンによる巻き狩り等が行えるよう検証する予定です。

（鳥獣害対策室）

治山事業の紹介

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地災害から人々の生命と財産を守り、水源の涵養や生活環境の保全・形成を図ることを目的としています。

具体的には、荒廃した山地の復旧整備に必要な治山施設の新設や森林造成、既存治山施設の老朽化への対策など、山地災害の未然防止や豪雨等による山地災害の復旧に向けた総合的な対策を展開しています。

山地災害は、山崩れ、地すべり、土石流などの現象によって起こる災害をいいます。地形、地質、林況等の条件と人家や公共施設、道路等の保全対象との関係から、山地災害の起こりやすい地区を山地災害危険地区として区分し、県のホームページに位置情報を掲載し周知を図っているところです。

また、毎年5月20日から6月30日までを山地災害防止キャンペーン期間として、ポスターなどを通じて、山地災害への防災意識を啓発しています。さらに、山地防災ヘルパーの活動による治山施設の点検や災害発生時の情報提供など、地域密着型の山地防災活動を強化しています。

治山事業は市町村を通じて計画・実施しますので、要望等については、まずは地元市町村役場へご相談ください。



治山ダム工

【山地災害防止キャンペーンポスター】



林野火災について

今年3月に岡山市南区飽浦で大規模な林野火災が発生し、失われた森林の公益的機能の早期復旧が求められています。引き続き、関係市と連携し、計画的な治山事業に努めていきます。



焼失状況

今後の課題と取り組み

県土の7割を占める森林は急峻な地形や脆弱な地質も多く、梅雨や台風等により山地災害が発生する可能性も高いため、災害の未然防止が重要な課題です。

6月6日には、第一次国土強靭化実施中期計画が閣議決定され、山地災害危険地区等における治山対策を強化する方針が示されたところであり、治山事業による防災・減災対策への推進に努めていきたいと考えています。

（治山課　整備班）





老朽化した緩衝材の取換えによる機能強化

特集

「林務の職場」令和6年度岡山県新規採用職員（入庁2年目）

令和6年度に岡山県職員（林業職）に新規採用された3名の方をご紹介します。



備中県民局
高梁地域森林課
西尾（にしお）　真典（まさのり）

○経歴と就職のきっかけ

大阪市出身で、高校卒業まで大阪で過ごしました。高校卒業後は4年間のブランクを経て、鳥取大学に進学し、主に作物と菌類の共生について学び、研究を行っていました。

私は、幼少期から自然の中で遊ぶことが好きで、漠然とですが、将来は自然の中で働ける仕事に就こうと考えていました。仕事では大学で学んだ分野よりも、もう少し自然について幅広く関わってみたいと思い、森林・林業の世界に足を踏み入れようと思いました。

私のイメージとして、公務員はお堅い職業で、私には合わないのではないかと不安もありましたが、働き始めてみると、私のイメージをぶち壊す先輩や同期に出会え、イメージが一変し、私にとっては働きやすい職場でありました。

○おわりに

1年目は、ふがいなさや苦しさを感じることは多くありましたが、大変楽しく仕事ができ、同時に、非常に多くの学びを得た一年だったと感じています。

もちろん、異動した現在の職場においても良い職員や関係機関の方々に出会え、1年目に引き続き、多くのことを学びつつ、日々精進しています。

まだまだ不十分なことが多々ありますが、試行錯誤しつつ、様々なことに挑戦していきたいと思っています。



美作県民局
森林企画課
桑元（くわもと）　亮輔（りょうすけ）

○経歴と就職のきっかけ

岡山県久米南町出身で高校まで岡山県で過ごしていました。大学は徳島大学の生物資源産業学部に進学し、研究室では、木質バイオマスに関する研究を行っていました。研究を通じてこれからのエネルギー資源として木材が大きな可能性を秘めていると感じ、それを守り、管理していきたいと思い、岡山県の林業職を志望しました。

○担当業務

今年度、私は森林病害虫の防除事業と林業労働・おかやま森づくり県民税事業を主に担当しています。

○これからの抱負

昨年度は県庁の林政課で森林認証事業や統計業務を主に担当しており、事務仕事が中心で現場経験はありませんでした。

今年度からは、岡山県の林業の本場である県北で多くの現場を経験し、岡山県の森林の現状や現場で働く林業事業者の現状や生の声を聴いて、日々精進しているところです。今後とも、よろしくお願いいたします。



美作県民局
森林整備課
藤澤（ふじさわ）　直之（なおゆき）

○経歴と就職のきっかけ

私は岡山県真庭市の出身で、市内の高校に通っていました。真庭市で生活していると、小さい頃から林業や自然について学ぶことが多く、将来は地元の自然に関わる仕事に就きたいと思っていました。高校卒業後、鳥取県にある公立鳥取環境大学への進学と森林組合への就職を経て、林業に従事する人々をサポートしたいとの思いが強くなり、岡山県の林業職員を志望しました。

○担当業務

主な担当業務は県営林道事業の設計及び監督、団体営の小規模林道整備事業、林道台帳の整備になります。

○今後の抱負

林道の開設・改良は森林施業を行う業者が効率的かつ安全に作業を行うことに繋がります。そういった思いを持って一つ一つの仕事を丁寧にこなしていきたいと思います。

この先、林道事業だけでなく治山事業や普及など様々な業務に携わる際も初心を忘れず、岡山県で働く林業従事者や工事を担当する企業の力になれるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

岡山県林業研究グループ交換研修大会を開催しました。

一　はじめに

岡山県林業改良普及協会専門部会では、令和7年7月16日、鏡野町立中央公民館（鏡野町）において「岡山県林業研究グループ交換研修大会」を開催しました。

本大会は、県下の林研グループが一堂に会し、お互いに情報交換することで、林研グループの資質向上を図ることを目的に、毎年開催されています。

今年度は、県内各地から8グループ17名の参加者が、元気な顔を合わせることができました。

大会では、各林研グループから活動内容の発表や近況報告があり、実りのある情報交換ができたほか、令和5年4月から運用が開始された「かがみの・夢・森づくり鏡野町貯木場」の現地視察を行いましたので、誌面をお借りして、大会内容の一部を紹介させていただきます。

二　林研グループの活動発表

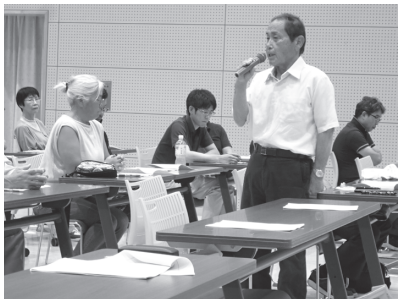
例年恒例となっているグループ活動の発表では、鏡野町林業研究グループ連絡協議会（以下連絡協議会）が、「鏡野町林業研究グループ連絡協議会の活動について」と題し、鏡野町森林づくり協議会に参加し毎年一度、鏡野町に提言を行っている様子や、研修・講習の実施、労働災害防止の取組、森と海の交流活動など、意欲的な活動を行っている様子を発表していただきました。



活動発表の様子

町への提言により様々な助成制度が設立されるなど、鏡野町の林業・木材産業に大いに貢献されている姿は、正に、林研グループの目指す地域産業、林業・木材産業の振興の形なのではないでしょうか。

連絡協議会の発表後は、参加グループから、活動状況や近況について報告いただきました。会員数や活動の減少など、共通の悩みも多く、実際に顔を合わせて話を聞くことで、新たな活動のヒントを見つける機会になったのではないかと思います。



グループの活動状況および近況報告

三　現地視察

午後からは鏡野町貯木場の視察を行いました。この貯木場も、連絡協議会からの町への提言により、山元や出荷者の負担軽減や林業事業体の収入確保、産地認証の正確化・明瞭化を図り、町産材の安定供給につなげることを目的に、運用が始まったものです。

施設整備の概要や現在の運用状況、県森連のサテライト土場としての活用などの説明に、参加者は熱心に耳を傾けておられました。



鏡野町貯木場(現地視察)

四　おわりに

半日という短い時間ではありましたが、本大会は、年に一度会員同士が顔を合わせ、意見を交わし情報交換できる、またとない機会であると、改めて実感しました。

事務局では今後も皆さまの期待に添う大会を企画していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（岡山県林業改良普及協会専門部会　事務局）

技能講習会の開催（10月～12月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名　　称	会場	日　　程	申込・問合せ先
伐木（特別教育）	岡山	10月15～17日、11月12～14日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)236-7077 林災防岡山県支部 HP
	津山	12月17～19日	
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができます。 ※申込の際は、郵送前に電話してください。			
小型移動式クレーン運転	岡山	11月13～14日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
	津山	11月13～14日（サテライト）	
フォークリフト運転	岡山	10月１日、10月18日、11月12日 12月３日、12月６日	
	津山	10月３日、11月７日、12月２日	
	和気	10月17日	
	笠岡	10月３日（サテライト）	
	玉野	11月７日（サテライト）	
	新見	12月２日（サテライト）	
玉掛け	岡山	10月９～10日、11月６～７日 12月４～５日	
	津山	10月20～21日、11月８～９日 11月18～19日、12月11～12日	
	笠岡	10月１～２日	
	和気	10月27～28日	
	玉野	10月20～21日（サテライト） 12月11～12日（サテライト）	
	新見	11月18～19日（サテライト）	
不整地運搬車	赤磐	10月16～17日、11月17～18日 12月18～19日	(株)ＰＣＴ （旧（株）PEO建機教習センター） 岡山教習所　TEL(086)956-2170

ー 安全・人と自然・調和 ー

美林を育てる

〔林地除草剤〕 ザイトロン微粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕くわんたいⅡ　　**〔樹皮食い防止〕**バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕 マツガード・他　　**〔野生草食獣侵入防止〕**防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社　TEL.086-292-5525

販売元：大同商事（株）大阪営業所　TEL.06-6384-1288

林業機械のご購入・修理・買い替えのご相談は

美津吉商事株式会社

岡山県津山市一方194／TEL 0868-23-2255

≪津山・真庭・倉敷・鳥取・倉吉≫

https://www.mitsuyoshi.com

イワフジ　ハスクバーナ　ゼノア
新ダイワ　共立　シングウ　大橋
ＳＴＩＨＬ　マキタ　ファナー　他

確かな技術と
製品で
作業の安全性を
サポートします！

お近くのお店へ
お気軽に
ご相談ください。

林　産　物　市　況



●木材（ 8月20日）

・出 荷 量　　約1,200㎥

単位：千円／㎥

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概　況
杉	3ｍ	14～16	12	～	杉概況 【3m】 柱　材　横這い 中目材　横這い 【4m】 中目材　横這い 元　木　横這い
		18～20	12	～	
		22～28	12	～	
	4ｍ	20～22	11	～	
		24～28	12	11	
	6ｍ	16～18	—	—	
檜	3ｍ	15～16	24	20	檜概況 【3m】 柱　材　横這い 中目材　横這い 元　木　横這い 【4m】 柱　材　横這い 中目材　横這い 元　木　横這い
		18～20	22.5	20	
		22上	24	23	
	4ｍ	16～18	23.5	22	
		20～22	23	22	
		24～28	23	22	
	6ｍ	16	—	—	
		18～20	—	—	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値



●製材（8月）

価格：円／㎥

樹種	寸　法	等級	区分	安値～高値	備考
スギ	正角3ｍ　10.5cm角	特等	K	～75,000	
	正角3ｍ　12cm角	特等	K	～70,000	
ヒノキ	正角3ｍ　10.5cm角	特等	K	80,000～	
	正角3ｍ　12cm角	特等	K	75,000～	
	正角4ｍ　10.5cm角	特等	K	80,000～85,000	
	正角4ｍ　12cm角	特等	K	～75,000	
マツ	平角4ｍ 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	100,000～	
米マツ	正角3ｍ、4ｍ 10.5cm角	特等	G	91,000～	
	平角3ｍ、4ｍ 10.5×15～21cm	特等	K	101,000～	
北洋アカマツ	タルキ4ｍ　3.8cm角	特等	K	120,000～	
ホワイトウッド	間柱3ｍ 2.7cm×10.5cm	特等	K	93,000～	

注１：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注２：区分のＫとは人工乾燥材、Ｇとは未乾燥材のこと。

おかやま森づくり県民税
３つの柱について ～②～

県では、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルの循環のため、おかやま森づくり県民税を活用し、３つの柱に沿った森林の保全に関する各種事業を行っています。

今回は、柱の２つ目である「森林整備を推進するための担い手確保・育成・定着と木材の利用促進」の取組について紹介します。

【力強い担い手の確保・育成・定着】

林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材を育成するため、高校生等への林業就業体験支援、現場指導者への研修会の開催等を行っています。

また、安全・安心を確保するための装備や、労働強度の低減のための資機材の導入を支援しています。

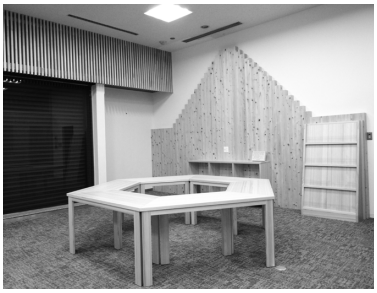


現場指導者への研修

【木材の利用促進】

県産材の需要拡大を図るため、住宅等への県産森林認証材を用いた乾燥材、ＪＡＳ製品の利用促進や、公共建築物等の木造化や内外装の木質化、木製品の導入を支援しています。

他にも、県産材サポーターの養成や木造建築に関するセミナーの開催、国内外への県産製材品等の販路拡大及び県民等への普及・ＰＲ等の支援に取り組んでいます。



内装の木質化・木製品の導入

（林政課　普及指導班）

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ，ナメコ，ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造総発売元　森産業株式会社

岡山営業所　岡山市北区辰巳46－104
TEL 岡山(086)805－7033(代)

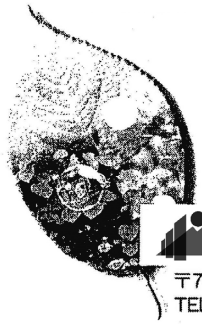


緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社　〒703-8273 岡山市中区門田文化町２丁目11番51号
TEL (086) 272－2161　FAX (086) 272－2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所　津山営業所　水島営業所

防腐技術と加工技術で、人と森と未来を繋ぐ



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代)　FAX 086-262-0130

おかやまの木で家づくり支援事業

助成金額：最大３０．４万円／戸
助成対象者：
①県内で認証材を４㎥以上使用して新築する住宅(３５０戸程)
②　〃　〃　民間非住宅(５０件程)
③　〃　１㎥以上使用して改修する住宅(１００戸程)

詳細はこちら　⇓
http//www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html

一般社団法人 岡山県木材組合連合会
〒700－0902 岡山市北区錦町1－8（岡山県木材会館内）
TEL (086) 231－6677　FAX (086) 232－7549

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

森林保険

加入できる森林は？　人の手が加わった森林
加入期間は？　１年単位で何年でも！
保険金がでるのは？
火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去５年間で約２千８百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

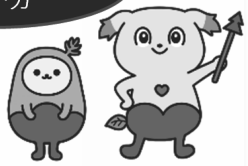
樹　種…ヒノキ　契約時林齢…1年
保険期間…5年　保険金額…最大188万円
一括払いだと 25,324円（５年間計）

1ヶ月あたり約420円 → おむすび３個分

樹　種…ヒノキ　契約時林齢…26年
保険期間…5年　保険金額…最大299万円
一括払いだと 42,129円（５年間計）

1ヶ月あたり約700円 → ラーメン１杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
○条件によって契約金額が変わってきます。
○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



森林保険公式キャラクター　そよりん　たもちぃ

ぽっけー木になる情報

Q.「JAS材」とはどういったものですか？

A. JASとは日本農林規格（Japanese Agricultural Standards）の略称で、飲食料品や農林水産物などの品質・成分、その生産・管理方法などの基準を農林水産大臣が定めている国家規格です。

「JAS材」とはJAS認証を受けた木材製品に対する呼称で、製材・集成材・CLT・合板など、建築に使用される種々の木質建材がJAS規格の対象製品となっています。JAS材は製品毎に定められた様々な基準を満たした品質や性能が担保された製品で、寸法・含水率・強度等級などの情報が明示されています（図1参照）。JAS材を使用することで、建築物の品質に対する信頼性が向上し、施主の安全・安心につながります。

また、建築基準法では、構造用のJAS材の等級（目視等級、機械等級）に応じて各種基準強度を定めており、この基準強度を基に建築物の構造計算が可能となります。製材では、JAS材ではない「無等級材」にも基準強度が定められていますが、一般的に同一樹種であれば、JAS材の方が高い基準強度を与えられているため、より合理的で自由度の高い木材使用が可能となります。

すなわち、JAS材を用いることで、住宅や中大規模建築物などの供給事業者と施主の双方にメリットが生じると言えます。

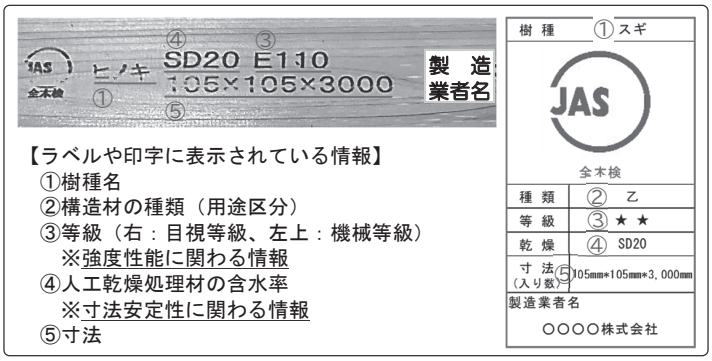


図1　JAS構造用製材のラベル（右）および印字（左上）の一例

（森林研究所　木材加工研究室）

林業機械
中古林業機械
売ります！買います！
林業機械
HITACHI
日立建設機械
油圧ショベル
Logisnext
三菱ロジスネクスト
フォークリフト
STIHL
チェーンソー
各種林業アタッチメント
KESLA
NANSEI
MAFUJI
Morooka
各種機械のレンタル・修理も承ります！
富士岡山運搬機株式会社
林業機械
本社　岡山県津山市津山口111-1　TEL：0868-24-3211
新見　岡山県新見市石蟹267-9　TEL：0867-76-9077
岡山　岡山県岡山市中区江崎84-1　TEL：086-277-5100
鳥取　鳥取県鳥取市南栄町33-15　TEL：0857-50-1985

林声

令和七年九月一日（第五〇三号）
（隔月一日発行）

森林・林業施設の紹介

「キプロ株式会社」

キプロ株式会社（井原市上出部町）は、非住宅用プレカット材を中心に生産していますが、中大規模・高層木造建築に使用される大断面構造材への多種多様な加工が可能となるフンデガー製特殊加工機「ロボットＭＡＸ」が導入されたので紹介します。

当加工機は県内に数台で、導入当時（令和６年１月稼働）は県内初でした。県産ヒノキ材や、国内外の集成材を中心に、開催中の大阪・関西万博の大屋根リングや、こども園、医療施設などへ供給しています。取材当時は、東映太秦映画村のリニューアル事業にも関わっているとのことでした。

社長の山内一也氏は、「導入により、自社内でほぼ加工は対応できるようになり、加工依頼を断ることもなくなった。複雑な加工にも対応でき、加工精度も高くなった。今は、主に非住宅を手掛ける建設会社からの依頼の加工がほとんどだが、将来、構造的な提案が出来るよう尽力していきたい。」と話されていました。

（井笠普及指導区　岡田　和久）

キプロ株式会社ＨＰ



山内一也社長と新加工棟



６軸制御ロボットアーム式特殊加工機
フンデガー製「ロボットMAX」

編集
発行　〒701-1202　岡山県森林組合連合会内　岡山県林業改良普及協会
岡山市北区楢津四九一―一

「緑の募金」ご協力をお願いします
緑の募金で進めようSDGｓ（持続可能な開発目標）
募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日
口座振込はこちらへ
ゆうちょ銀行　00230-3-144752
※窓口では手数料がすべて免除となります
中国銀行岡山駅前支店　普通1852041
トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972
寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。
公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町１－８　TEL・FAX (086)221-9511

第37回
岡山県民有林優良材展示コンクール
岡山県森林組合連合会では、優良材の振興を図り国産材の安定供給及び本県林業の発展を期することを目的として『岡山県民有林優良材展示コンクール』を開催いたしますので多数参加（出品）されますようご案内申し上げます。
農林水産祭参加行事
日時　令和７年11月11日(火)
開市　午前9時
■出品受付　令和７年10月１日(水)～10月31日(金)
場所　岡山県森林組合連合会
津山木材共販所
津山市一宮 1189　☎(0868)28-1118
優良材・特殊材の出荷状況など
HP・インスタにて随時公開中
◎主催　岡山県森林組合連合会
◎後援　岡山県・近畿中国森林管理局（岡山森林管理署）
◎協賛　（一社）岡山県木材組合連合会・農林中央金庫岡山支店・全国森林組合連合会

この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。
認定番号
K0301090